

作成: 芝崎

47. バスでの風景篇: 最近の状況: あいかわらず元気なおばさん達

(1) バスの席がガラガラも時に乗ってきたおばあさん: どこに座ろうか迷いだし、なかなか決められず。本来ならマイクで「早く座って」というのだけでも、高齢者ゆえに運転手じつと出発せずに待っている。

やっと座って、発射オーライ。おばあさん、何も気が付いていないところが面白い。マイペース。

(2) 降車鈕を押したのに降りないおばさん、仲間内で「間違って押しちゃった」と少し笑いながら話している。運転手は少し待ってスタート。このような方には想定済みなのかも。以前若い子が、間違っ

て、鈕を押したが、大きな声で「間違えておし

ゃった、すみません」と。これが本来の姿で、おばさんと若い子の大きな違いかも。
 (3) 車椅子の方が乗降車時、バスの出口;スロープになるようになっている。付き添いの小太りのおばさんが乗車時、どこで降車するか伝え、たまたま降車する停留所は屋根付き故に柱があり、停車位置が悪かった。スロープを出したら、その柱にぶつかる為、その位置では出せない。運転手が運転席に戻ろうとした時、おばさんが運転手と2人で車椅子を持ち上げようと、ヒョイと車椅子(含む人)を持ち上げて、降車した。元気なおばさん。
 (4) バスに乗車する人が多い時、私の前にいたおばさんがカードを置いたら、入金不足で急に立止まる為、おばさんにぶつかりそうになる。何とか回避。1,000円チャージに何度も失敗を繰り返す。やっとチャージでき、バスの奥に進み、空いてた席に座るそぶりを見せ、私が奥に進もうとしたら、そのおばさん座らず、急に奥に移動、又、おばさんにぶつかりそうになる。紙一重で回避。さすがに三度目はなかったが、なんとも要領の悪く、優柔不断な人なんだろうと。以後、特にこの類のおばさんには、スペースを確保すべく以後心がけるようになる。

笑いのポイント(笑点)

げん: 元(げん)気なのはあいかわらずおばさん達

き: (き)っともう怖いものがないのだろう。

な: 仲(な)間がいれば、さらにパーアアップ

お: (お)おいに人生を楽しんでいる。

ば: 場(ば)所を考えず、自由にふるまう

さん: (さん)さんと輝くおばさん達に対して、あいかわらずおじさん達はもの静か

➡ 運ちゃんもわかっているか、あきらめか何も言わず、対応しているようだ。おばさん達、若い時は大変だったのだろう: 子育て、教育、旦那対応とエトセトラ...そのタガが外れて、このたがが狭い所でも、今は自由奔放に縦横無尽に、動きまわる姿が十人十色で面白い。



ガラガラのバス、どこでも自由に座れるよ

以上